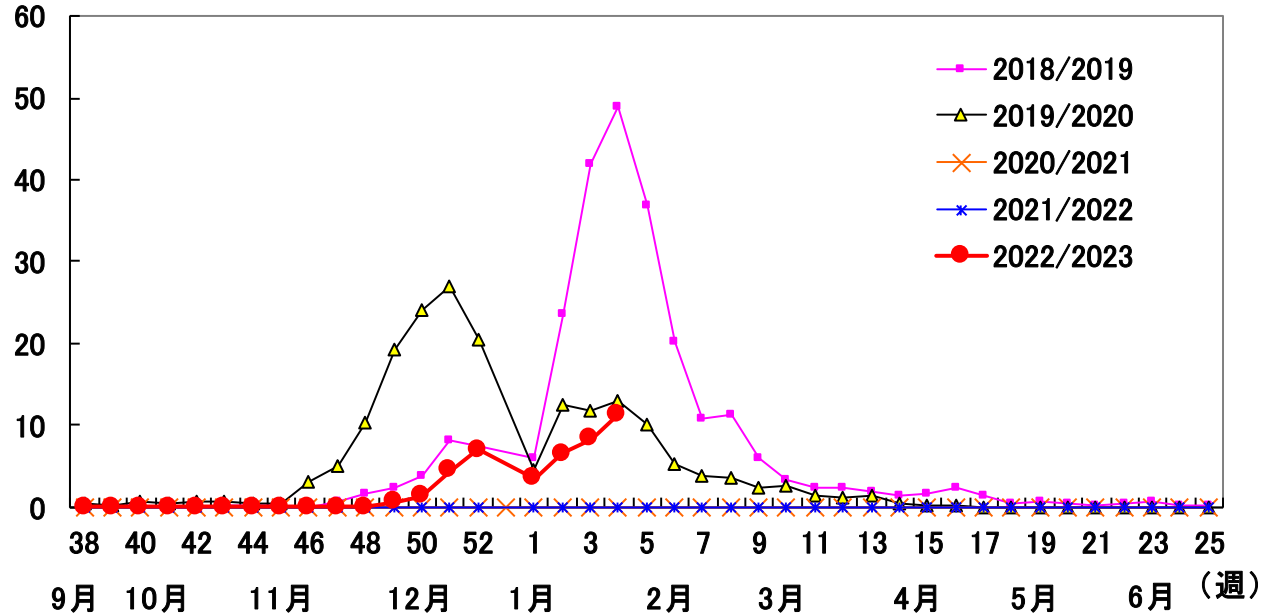


インフルエンザの発生状況(富山県)

【第4週(2023/1/23~29) 感染症発生動向調査速報値 (2023/2/1時点)】

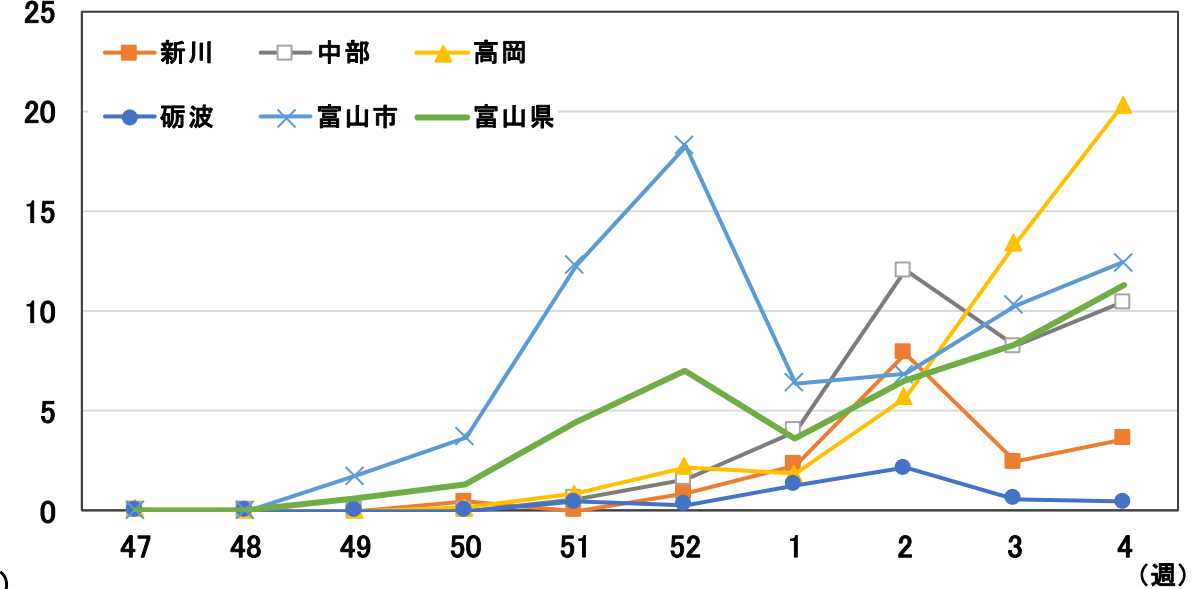
(人/定点)

図1. 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



(人/定点)

図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 今週の報告数は**11.31**人/定点となり、注意報発令の基準である10人/定点を超えた(図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、高岡管内(黄色)で先週に引き続き急増している。高岡(20.31人/定点)、富山市(12.44人/定点)、中部(10.40人/定点)で10人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第4週)

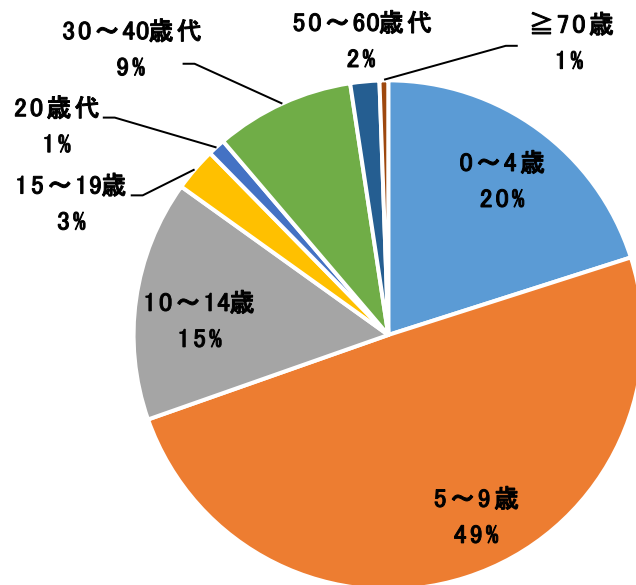
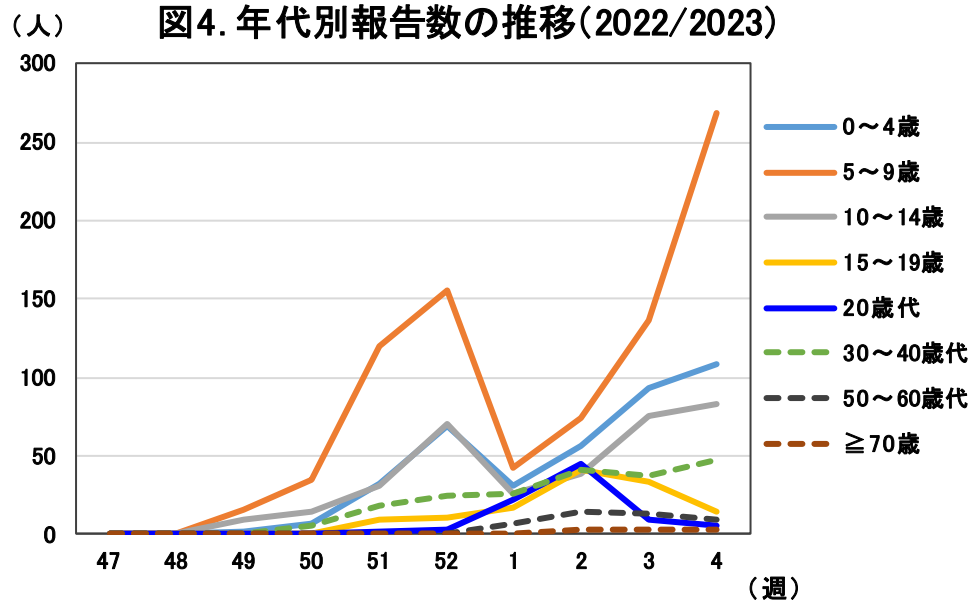


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第4週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が84%を占め、先週（77%）に比べて増加した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳の年代（橙色）で、今週顕著に報告数が増加した。15~19歳（黄色）はやや減少した。それ以外の年代では横ばいとなっている。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は第4週に小学校6施設、中学校1施設で報告されており、小学校での感染が拡大していると考えられる。

(<https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>)

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第3週)

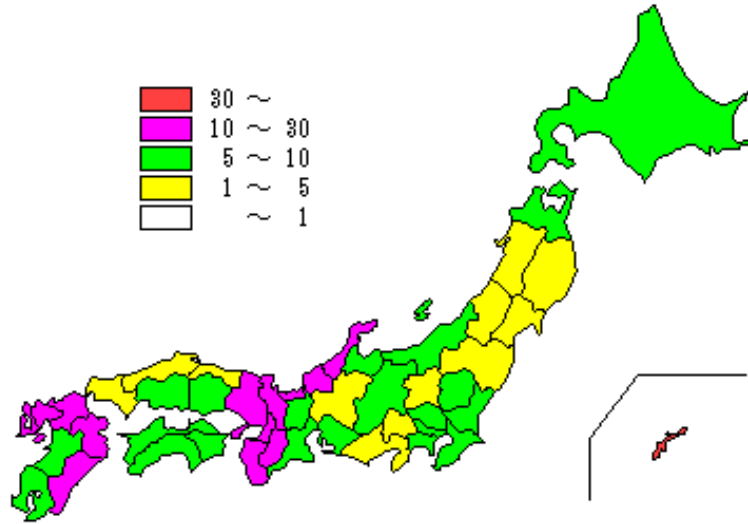
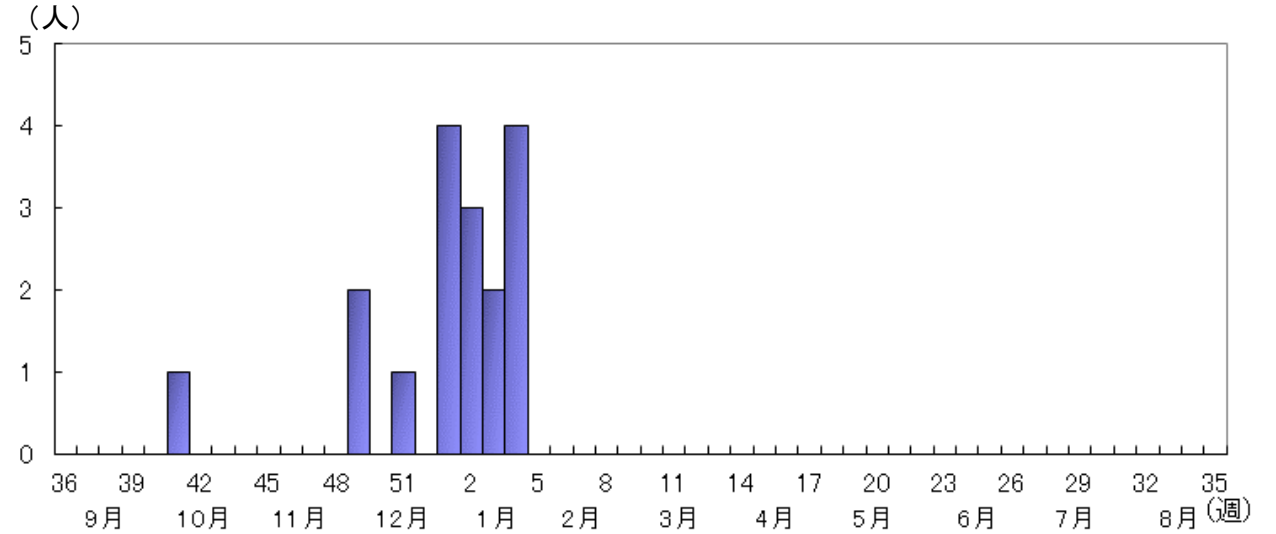


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第4週)



- 全国では第3週に9.59人/定点となり、第2週（7.37）から増加した。なお、都道府県別（図5）では、13府県で注意報発令の基準である10人/定点を超えている。先週に引き続き、沖縄県では警報発令の基準である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第4週に4例の報告（60歳以上3例、幼児1例）があった。